

2019 - 20 年度 国際ロータリーのテーマ
『ロータリーは世界をつなぐ』
RI 会長 マーク・ダニエル・マローニー

川崎北ロータリークラブ会長の方針
『この先の未来へ』
会長 朝山 浩

Rotary



川崎北ロータリークラブ 会報



会長 朝山 浩

幹事 野口 隆一

会報委員長 大塚 正一

事務所：〒211-0063 川崎市中原区小杉町 3-70-4 ホーユウパレス武蔵小杉 104 TEL 044-722-8037 メール：knrc@nifty.com

URL：http://kawasaki-north-rc.blue.coocan.jp/

例会：毎週水曜日 12：30

二子玉川エクセルホテル東急

第 2873 例会

令和元年 12 月 11 日 (水)

(本年度第 20 回)

点 鐘

朝山 浩 会長

スマイル体操

入来 武久 副会場監督

司会と斉唱

横山 芳春 副会場監督

山川 哲史 ソングリーダー

「我等の生業」

お客様紹介

米山 元章 親睦委員長

ゲストスピーカー

井口 靖之 様 (東京成城新 RC)

小川 湧三 様 (川崎鷺沼 RC)

妻鹿 会員ゲスト

松田 卓也 様

出席報告

若林 潤 出席委員

会員数 55 名 (対象外 9 名)	出席 29 名	欠席 26 名
		出席率 63.04%
前々回訂正 (対象外 7 名)	欠席 23 名	MAKE UP 5 名
		訂正出席率 77.08%

欠席者

クルーズ君	花田君	星野(博)君	星野(妃)君	生垣君
貝田君	上山君	北村君	小林君	榎木君
峯岸君	三平君	宮下君	溝淵君	茂木君
野口(哲)君	大部君	大塚君	相良君	佐久間君
関君	世良君	重田君	色摩君	豊見山君
藁科君				

会長報告

朝山 浩 会長

1. 地区より、2022-23 年度 ガバナーノミニ候補者推薦依頼の文書が届いています。
年次総会にて、皆様のご承認をいただきましたので、推薦文書を作成、幹事の署名を付して、地区宛に提出いたしました。
2. 川崎とどろき RC より、訃報が届いています。
宗澤 文良 様 (2006 ~ 07 年度 第 2 グループガバナー補佐) が 12 月 3 日 (火) にご逝去されました。享年 78 歳
謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

幹事報告

野口 隆一 幹事

1. 幹事クラブより、6RC 合同例会のご案内
日時：1 月 27 日 (月) 18：00 ~ 20：40
会場：ホテル精養軒
2. 他クラブ例会臨時変更
●川崎中原 RC
1 月 2 日⇒9 日 (木) に変更 ホテル精養軒 点鐘 12：30

1 月 16 日 (木) 早朝例会 ホテル精養軒 点鐘 7：15

1 月 27 日 (月) 6RC 合同例会 ホテル精養軒 点鐘 18：00 (臨時)

バナー交換

東京成城新 RC とバナー交換をいたしました。



卓話

井口 靖之 様 (東京成城新 RC)

「東京成城新 RC の奉仕活動について」

平成 18 年 8 月 RC 入会 (現在 RC 歴 13 年)
昭和 60 年 3 月 成城大学卒業後、港区六本木のソニー代理店東通産業 (株) 入社
平成 5 年 井口建設 (株) 転職

現在、井口建設の傍ら、前職の東通産業 (株) にて空間映像担当部長として大型 LED ディスプレイをメインに営業を行う。

2018 ~ 19 年度 東京成城新 RC 第 30 代会長

私の所属する東京成城新ロータリークラブは、東京成城ロータリークラブをスポンサーとして 1989 年に設立されました。昨年は優秀な幹事とともに、第 30 代会長を務めさせていただきました。本日は地区のガバナー賞と国際ロータリーの金賞をいただいた、当クラブの 2 つの奉仕活動をご紹介します。

今年の 3 月 16 日 ~ 17 日に東京成城新ロータリークラブ 30 周年記念事業の一つとして、「とっておきの音楽祭」を世田谷区と共催して開催いたしました。「とっておきの音楽祭」は 2001 年に宮城県仙台市で始まり、障害者が参加するストリート音楽祭としては、日本最大の規模を誇っています。障害のある人もない人も一緒に音楽を楽しみ、人と人との思いやり、笑顔、感動に満ちた時間の共有による、心のバリアフリーを目指す音楽祭です。東京都 23 区内で初めての開催となった「とっておきの音楽祭東京世田谷 IN 烏山」は、2 日間で全国



から 61 団体 268 名が集まり、4 つのステージに分かれて素晴らしい演奏を繰り広げました。

次にご紹介するのは 10 年以上続いている「ロータリーの畑」という社会奉仕活動です。当クラブの会員から約 150 坪の畑（世田谷区上祖師谷 6 丁目の高級住宅街）を無償提供してもらい、障害者福祉生活介護施設：世田谷区立 給田福祉園の皆様と、児童養護施設：社会福祉法人 福音寮の子どもたちが中心となり、当クラブの会員と農作業を行います。共に活動する社会福祉法人 福音寮は、様々な事情により家庭での養育が困難な 18 歳までの子どもたち約 70 名が、9 つのグループホームに分かれて生活をしています。当クラブでは社会福祉法人 福音寮と区立 給田福祉園に対し、以前より地区補助金を活用した奉仕活動を継続しており、17～18 年度には、社会福祉法人 福音寮に学習支援としてノートパソコン 9 台、プリンターを 9 台寄贈しました。

「ロータリーの畑」は、植え付け、土寄せ、草取り、収穫を通して土とのふれあい、植物神秘、力強さ、収穫の喜び、食の大切さを、これから時代を担う若い世代にも感じて欲しいという想いから始まった社会奉仕活動です。作業日数は、我々会員も述べ約 80 日を費やし、全ての工程を行います。そして、この活動の最大の功労者は、当クラブ 第 22 代会長 穴戸 啓昭 会員です。穴戸会員には年間 100 日以上も作業に携わっていただいています。30 年以上前から趣味で野菜作りを始め、そのノウハウをまとめた「農楽のスズメ」という本まで出版した現代のスーパーファーマーであり、この方なしでこのような成果を成し遂げられませんでした。

じゃがいもの種まき前には、種いもの植えかたや、畑の歩きかたなど作業方法の細かい説明が行われ、地主であり、坂本 G 年度の 2750 地区大会実行委員長 水野会員や、町の駐在さんにまで参加していただきました。また、駐在さんには交通安全についてのお話だけでなく、普段から子供たちが安全に農作業できるよう、畑の周りの安全を配慮した見守りをしていただいています。また、植え付けの際には、制服姿で手伝ってくださいました。じゃがいものを植える畑は、まず耕耘機で全体を柔らかくし、クワで溝を作っていきます。クワを使ってまっすぐ溝を掘っていくのがプロの仕事です。その後作った溝の中に堆肥と飼料を撒いて、堆肥と肥料をほどこした溝を半分くらい土でもどし、上に種いものを均等に植えていきます。最後に種いものに薄く土をかぶせ、さらに肥料を撒いて終了です。福音寮の子どもたちも慣れた手つきでテキパキと作業を行います。次のプロセスである、畑のメンテナンスは我々会員で行っています。じゃがいもは土寄せという作業が加わるため、手間がかかります。1 回目はじゃがいもの芽が出たら周りの土を集め、芽の周りに 5cm ほどかけて土を盛ります。2 回目の土寄せは草取りをしながら、じゃがいもの成長とともにいきます。これは大きく育ったじゃがいもが直射日光を浴びて、日焼けするのを防ぐためです。夏の暑い日の作業はとても辛いものがあります。

じゃがいも、さつまいも、きょうげつ、ブルーベリー、サツマイモ、聖護院大根、白菜など様々な食物の農作業を行っています。一連の作業で一番楽しい瞬間は共通して、やはり収穫のときです。今年も両施設の皆様、引率の先生たちが泥んこになりながら真剣に、楽しく収穫作業を行いました。会員による普段の手入れが良く行き届いていたおかげで、大豊作に終わりました。さつまいもに関しては八百屋さんでは売っていないような立派なサイズのものも収穫でき、最後に袋に詰め集めると子どもたちが持ちきれないほどの量になっていました。

我々が農作業をする日は泥まみれになるため、お店に食べに行くことができず、どんなに暑い日も寒い日も毎回同じ近所の公園に出前を頼み、ベンチで食べています。「ロータリーの畑ですが、親子丼 4 つ、かつ丼 2 つ、缶ビール 6 本いつもの公園をお願いします。」と電話注文をすると、ちゃんと届くシステムになりました。出前を頼むそば屋では缶ビールを取り扱っていないため、亭主の方がコンビニへ寄ってビールを仕入れて出前をしてくれます。

夏場は暑さに負けず、冬場は寒さと戦い、みんなで作り上げた畑を必死に守っています。また、一年の最後には「ロータリーの畑」を通して会員への奉仕として、畑でとれた里芋を使った秋の芋煮会を開催しています。穴戸会員の会社を借り、北沢法人会、北沢間税会と成城新ロータリークラブ合同で行い、会員増強の場の役目も担っています。耕す、植える、世話をす、取り入れる、食すると無駄なく働いている「ロータリーの畑」です。



ニコニコレポート 帯谷 昌充 副会場監督

小川 湧三 様 (川崎鷺沼 RC)

お世話になります。

朝山 浩 会長、戸川 俊雄 副会長、野口 隆一 幹事、
入来 武久 60 周年実行委員長

本日は、井口 靖之 様 (成城新 RC) による卓話です。井口様、よろしくお願ひいたします。また、来週は年忘れ家族会です。多くのご家族、ご友人にご参加いただき、楽しい家族会にしたいと思います。

武田 信平 君

12 月 8 日に J リーグアウォーズが開催されました。川崎フロンターレからは優秀選手として、谷口 彰悟 選手 (3 回目)、大島 僚汰 選手 (5 回目)、中村 憲剛 選手 (15 回目)、家長 昭博 選手が選出されました。また若手の活躍選手に贈られるベストヤングプレーヤー賞に、田中 碧 選手が選出されました。更なる飛躍を期待したいと思います。

川崎フロンターレの今シーズンを振り返りますと、5 回目の挑戦で見事ルヴァンカップを獲得しましたが、リーグ戦では 4 位の成績で終了しました。怪我人が多く出て、調整に苦しんだシーズンであったかと思ひます。来シーズンに期待したいと思います。また、来シーズンの ACL は、鹿島アントラーズが天皇杯で優勝すると繰り上げで出場できます。アントラーズ頑張ってください。

プログラム委員会：谷口 一成 君

井口 靖之 様 (成城新 RC)、本日の卓話よろしくお願ひいたします。無理言ってすみませんでした！

ビール同好会：戸川 俊雄 君、渡邊 敏久 君、宮崎 秀樹 君、
洪 征治 君、柳澤 信夫 君

今日はとても暖かいですね。井口 靖之 様 (成城新 RC)、卓話楽しみにしています。

SAA：横山 芳春 君、帯谷 昌充 君、松下 幸夫 君

井口 靖之 様 (成城新 RC)、本日はよろしくお願ひいたします。